



学校法人永原学園  
さんこう  
児童クラブ通信

令和5年9月発行  
— 第6号 —

【三光幼稚園】

TEL：0952-31-0753

【さんこう児童クラブ携帯】

TEL：090-7430-1312

2学期が始まりましたね（^^）

5週間程の長～い夏休みが終わりました。

さんこう児童クラブの子ども達は、この間大学と短大の協力で様々な活動を経験しました。どの活動も興味津々、友達と一緒に楽しくチャレンジしていました。中でも、謎解きはその後もクラブでブームになり、自分たちで問題を考えて作成するまでに至っています。

さて、今年の甲子園で107年ぶりに優勝した慶応義塾高校は、個性と主体性を重視した教育方針で話題になっています。球児＝丸坊主、叱咤激励等、昔からイメージされた甲子園物語が変わってきたように感じました。学校で見る子ども達と児童クラブで見せる子ども達の姿から、どんな育成支援ができるか思考していきたいと思いました。2学期も楽しみに帰ってきてくれる環境を準備したいと思います。

9月のおたのしみ

○戸外活動

○風船パレー

○9月の壁面製作

○モルック

9月の学童児童数

	8月末 在籍数	9月利用 なし人数	9月 入所人数	9月 初日人数
1年生	9	0	0	9
2年生	10	2	2	10
3年生	1	0	0	1
計	20	1	0	20

児童の様子

あっという間に夏休みが終わり、2学期になりましたね！毎日お弁当のご用意ありがとうございました。今年も図書館で読書をしたり、戸外で虫探しをしたり、学生さんとの活動を楽しんだり・・・と色々な活動をしました♪そこで今回は夏休み行った活動をいくつか紹介したいと思います♪

○活動「げんきな木を描こう」



8月3日に牛丸和人先生のご指導のもと、木を描きました☆子どもたちの個性豊かな作品が出来上がり、嬉しそうな子どもたちでした♪

○活動「バルーンアートで遊ぼう！」

8月4日は金丸智美先生のゼミの学生さんと一緒にアートバルーン作りです♪

1番難しいクマに挑戦する子が何人もいました♪

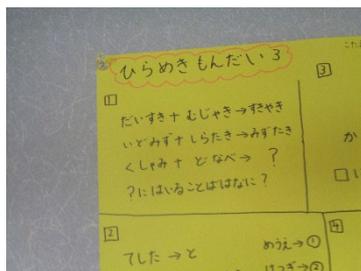
お子様が興味をもたれたらぜひお家でも一緒にやってみてはいかがでしょうか？(\*^-^\*)



○クラブでの活動「謎解きにチャレンジ！」



児童クラブでは謎解きが大ブーム！先生が作ったクイズに子どもたちが答えを導き出そうと一生懸命考える姿が見られました♪「先生、もっと作って～」とかわいくおねだりされ、張り切って何問も作ってしまいました(\*^-^\*)



ご家庭でもぜひお話を聞かれてみてください☆

◇ 9月の目標 ◇

「次の遊びをする前に片付けをする！」

夏休みは、宿題を頑張りながら色々な活動や遊びを楽しみました(^v^)/活動に次々に興味に移り、たくさん楽しんだ後に見渡してみると、お部屋が大変なことに、👉つついそのまま次の遊びに行ってしまう、最後の片付けに時間がかかってしまいます。そこでみんなで話し合い、次の遊びに行く時は必ず片づけをしてから遊びに行くようにしたいと思います♪

## 西九州大学・短期大学部寄稿文

### 「未来をひらく力」

子ども学部子ども学科 教授 赤星まゆみ

猛暑の続く8月、NHK・Eテレで、興味深い番組に出会いました。「ニュー試 世界の入試で未来が見える」(8月12日放送、8月16日再放送)です。そこで投げかけられたのは、イタリア北西部、ピエモンテ州にある食科学大学の入試問題例、「あなたの好きな食べ物と嫌いな食べ物について5つまで述べなさい。(300字以内)」というものでした。

さて、皆さんはこれにどう答えますか?

すでに、これより前に5回の放送が終了しており、番組HPで見ると、問題の出し方もこの大学の例は他の5大学とちょっと違っているというのが私の印象です。どう読んでも、今晚ご馳走するから、あなたの好きな食べ物や嫌いな食べ物を教えてくださいませんか、という日常会話のレベルでしか聞こえてきません。3人の挑戦者の解答例が紹介されました。

まず、最初にみた解答は、「好きな食べ物は、すし・沖縄そば・とんかつ…です。嫌いな食べ物は、とうがらし・パクチー…です。」という簡単なものでした。C+の判定がつけられました。次にみた解答は、「私が好きな食べ物は、海老、餅、…餅は正月に食べるものという印象…私は、1年通して…納豆と一緒に食べます。そして、一番好きなものは母の作ったコロッケです。…反対に嫌いなものは、牡蠣、ラム肉、…香りの強い食べ物が得意ではない…」というもので、B+の判定でした。最後の解答は、A+の判定を得たのですが、「大阪の番組収録でソースが苦手と答えて総スカンを食らったことがある。…それ以来みんなが大好きなものを嫌いと言ってはいけないと学んだ。…甘い味付けのもの全般が苦手なのだが、…おふくろの味として多くの日本人の心根に息づいている。…私も小さい頃によく食べた魚卵や北海道の郷土料理いずしが好きだ。」というものでした。

イタリアの大学教授の採点コメントは、1番目は買い物リストであり、2番目は自分の体験で完結していると指摘しました。3番目については、好き嫌いを相手に伝えるのは単純ではなく、相手によっては配慮しなければならないことがあるが、その苦い経験から反省して行動修正をしていることを認めています。また自分の好き嫌いの背景にある思いもきちんと述べていると付け加えました。皆さんの答はどのタイプでしょうか?

1番目は、従来のテストの正答型、満点を取る最良の解答です。簡潔で、余計なことは書かれていません。2番目は、自己アピールの模範とされるような書き方です。私もおいしいコロッケを作って子どもに伝えたいと書きたせば、抱負が示され、完璧です。

しかし、この大学教授は食への情熱と人間性が表出されていると3番目を評価しました。他者への視点があること、省察の質がすぐれていることが理由です。実は、見抜かれたのは、知識や技術ではなく、社会情動的能力と言われる非認知能力です。そして、2番目と3番目の決定的な違いは、行動(action)の有無にあります。周りに働きかけるエージェンシー(agency)が重視されています。これはOECD Education2030プロジェクトで打ち出されました。3番目の「経験から学ぶ自律的な省察力」こそが未来をひらく力と言えましょう。